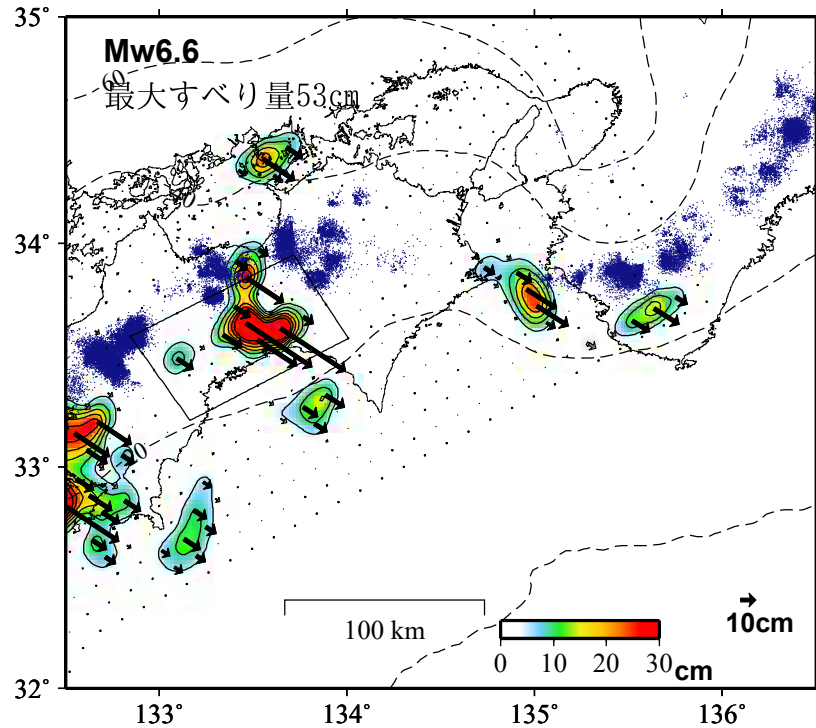
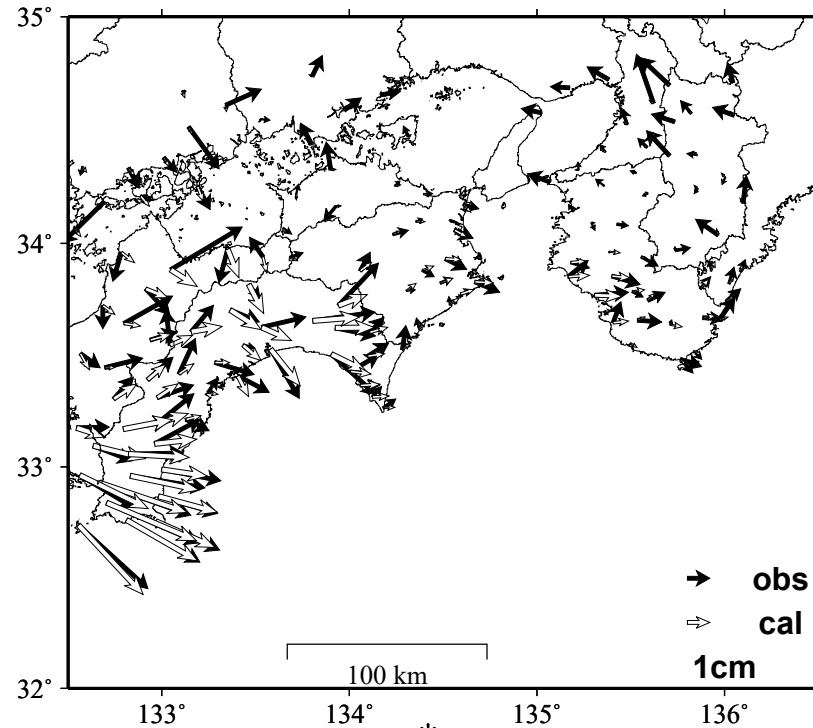


# GNSSデータから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布  
(2019-01-01/2024-07-06)



観測値（黒）と計算値（白）の比較  
(2019-01-01/2024-07-06)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
 すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
 推定したすべり量が標準偏差( $\sigma$ )の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。  
 使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)  
 F5解(2019-01-01/2024-06-01)+R5解(2024-06-02/2024-07-06)  
 トレンド期間(九州・四国西部): 2006-01-01/2009-01-01(年周・半年周成分は補正なし)  
 (四国中部): 2017-04-01/2018-04-01(四国東部・紀伊半島): 2017-01-01/2019-01-01  
 モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側  
 観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値  
 黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)  
 すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束  
 青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間: 2019-01-01/2024-07-06)  
 固定局: 上対馬  
 \*電子基準点の保守等による変動は補正している。  
 \*平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している(Suito, 2017, 水藤, 2017)。  
 \*Nishimura et al. (2013)及び気象庁カタログ(2017年以降)の短期的ゆっくりすべりを補正している。  
 \*共通誤差成分を推定している。

